

平成20年10月10日

中之島線営業開始に伴い京阪電車開業時の始発駅「天満橋」ゆきがダイヤから姿を消します

10月18日(土)最後の天満橋ゆき列車に

着脱式の行先表示板を掲出して運転します

京阪電気鉄道株式会社(本社:大阪市中央区、社長:上田成之助)では、中之島線の開業に伴い、10月19日(日)から全面改訂した京阪線(京阪本線・鴨東線、中之島線、宇治線・交野線)新ダイヤをスタートします。

これまで京阪本線は、萱島駅より西方面が複々線(4線)構造で、複線(2線)が淀屋橋に達する一方、残りの複線(2線)は天満橋までとなっていたことから、大阪市内に入る列車は淀屋橋ゆきと天満橋ゆきが存在しました。このたび天満橋で止まっていた2線を延伸する形で中之島線が完成したことから、天満橋どまりの列車はダイヤ上から姿を消すこととなります。

京阪電車は明治43年(1910年)天満橋~五条間で営業運転を開始したことから天満橋ゆき列車は京阪電車の原点と言えます。そこで、15時14分出町柳駅発、16時53分天満橋駅着の最終天満橋ゆき普通列車に、自動の行先表示器が全列車に完備されている現在では、通常使用しない「天満橋」と行先を表記した行先表示板を掲出し、運転することで花道を飾ることにしました。

さらに、当日天満橋駅では、年内に引退が決定している往年の特急車両1900系が16時29分天満橋発萱島ゆきの区間急行として、通常運用の使用としては最終運転を行うことになっており、懐かしい風景が行き交うこととなります。

また、開業時のもう一方の始発駅であった五条駅も、翌日から清水五条駅に改名されることが決定しており10月18日(土)は、京阪電車にとって一つの区切りの日となります。

最終天満橋駅ゆき列車の概要は下記のとおりです。

#### 記

- |             |        |       |
|-------------|--------|-------|
| 1. 発時刻並びに発駅 | 15時14分 | 出町柳駅発 |
| 2. 着時刻並びに着駅 | 16時53分 | 天満橋駅着 |
| 3. 種別       |        | 普通    |
| 4. 編成       |        | 7両編成  |

尚、天満橋駅が始発駅になる最終の列車は、同日17時07分天満橋発三条ゆき普通となります。

以上



- 行先表示板を装着した1000系車両 -

使用する車両形式等は当日の運用により異なる場合があります。